

いしのまき市 農業委員会だより

第17号
令和5年
7月1日発行

かもめ 水田に飛来



夏場、沿岸で荒天が続くと、
かもめはエサを求めて
内陸部の水田に多数飛来します。
一斉に飛び立つ様は
圧巻です。

主な内容

- P2 農地パトロール情報
- P3 委員会活動報告
- P4 農業女子の紹介
- P5 就農者の紹介・農業体験
- P6 総会等日程表



市町村農業委員・農地利用最適化推進委員研修会

会場：名取市文化会館 開催日：令和5年3月2日

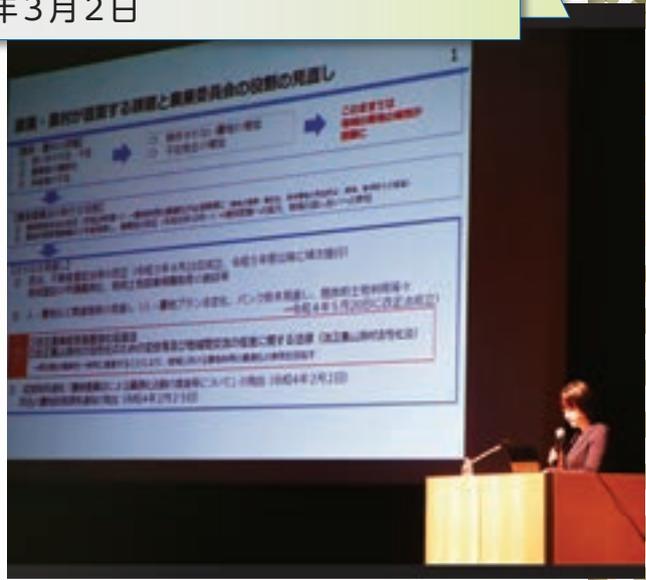
研修会では「改正農業経営基盤強化促進法等への取り組み」について、実例を交えて説明を受けました。

「人・農地プラン」が法定化され、10年後に目指すべき農地利用の姿となる「目標地図」を含んだ「地域計画」として策定することが必要となりました。

策定される計画を地域農業の将来像として、農業者のみならず、地域全体で共有していく事が地域農業の持続発展に繋がると思います。

私たち農業委員会が中心となり、目標地図をつくって参りますので、ご協力をお願いします。

(担当：岡田正男委員)



女性委員の活動

第18回 女性の農業委員会活動シンポジウム

会場：東京有楽町朝日ホール 開催日：令和5年3月9日

『女性の力で進めよう、農地利用の最適化』をテーマとした、第18回女性の農業委員会活動シンポジウムが開催され

宮城県からは18名が参加しました。

発表された内容は「農業委員会による営農意向調査結果の活用事例」「優良な農地を維持するための活動」「eMAFF農地ナビを農地集積に活用した事例」の3つで、会場から盛大な拍手が起こるほど、どれも素晴らしい内容でした。また、「今後に向けて解決すべき問題点」として「委託が進むことによる担い手の疲弊」についての報告もありました。

やはり、地域の自然環境は地域全体で守っていかなくてはならないと強く感じるものでした。

その実現のためにも、地域農業の未来について、話し合いを大切に協力し合って農地を守りふるさつを守っていけるよう取り組んでまいります。

(担当：高橋千代恵委員)



タブレット端末操作研修会を実施しました。

会場：河北総合支所 開催日：令和5年3月28日

農業委員会では、現地調査の効率化等を目的としてタブレット端末を導入し、今年度の農地パトロールから使用しています。



おらほの生きいき農業女子!

桃生・中津山 西條 智恵さん

結婚後も保育士として忙しく働いていた智恵さんですが、ご主人が就農した頃、出産・育児期も重なり退職しました。

平成30年頃から農業を手伝うようになり、両親の指導を受け、その奥深さを知り、「楽ではないが、やりがいや喜びを子どもと共に体験でき、家族で働ける農家っていいな。」と実感したそうです。

現在、水稻30ha、長ネギ20aを耕作。「家事や農作業を手伝ってくれる子どもたちの成長がうれしい」と笑顔で語る智恵さん。大型特殊免許を取得しステップアップ!

トラクターに乗った姿は格好良く、とても素敵でした。



(担当：伏見さと子委員)

農業者年金 新規加入者の声



桃生・神取
高橋 麻琴さん



小柄な身体で大型トラクターを乗りこなしている麻琴さん。

高校卒業後、専門学校に進学。農業とは無縁だったそうですが、四年前に郷里への想いが募り、就農を決意、緑の大地に舞い戻りました。

農業が大好きと話し、父が経営する水田と農業施設の管理を任せてもらえるようにと、日々の農作業に余念がありません。

一番の楽しみは、トマトの成長を見守ることで、ビニールハウス内で栽培するトマトが芽を出し、成長とともに青い果実が赤く色づき、収穫を迎える時の感動が至福の喜びと目を輝かせていました。

今後は、色々な作目に挑戦したいとの目標があり、その達成のためにトマト栽培を起点に基礎力の充実を図りたいとのことでした。

農業者年金の加入は、家族経営協定を締結した際に、個人経営の農業では社会保障が充分ではなく、特に老後の生活に不安を抱くのが実情であること、若いうちから将来への備えが大事との家族の勧めもあって決意しました。 (担当：武山勝委員)

農業者年金の加入資格は3つだけ!

- ①年間60日以上 of 農業従事
- ②65歳未満
- ③国民年金第1号被保険者

詳しくは最寄りのJAまたは農業委員会にご相談ください。



桃生・神取 高橋 正信さん



平成25年10月から有限会社アグリサービス高勝で働く正信さん。

会社は両親が起業、兄が社長を務めており、正信さんは主に米のネット販売とドローン作業を担当しているそうです。

正信さんは農業機械の操作が苦手で、あまり農業に興味が無かったことから、大学卒業後は電気工事の仕事に就いていました。

そんなおり、兄の仕事をネット販売という形で

手伝っていたところ「美味しい」という顧客の反響を目の当たりにして嬉しく思うとともに、実家で育てた米の美味しさを改めて知ったことから、自分のできることで農業に携わって行こうと決意し、現在に至っています。

今後は、農作物の直販の取り扱いを増やすなどし、会社経営に足りないと思う部分を自分が積極的に補っていければと語る正信さんでした。

(担当：佐々木洋委員)

5月11日

わくわく農業体験

河北・大谷地

おだやかな新緑のなか、大谷地小学校の児童103名が田植作業を行いました。

食と農のかかわりを目的に、30年前から行っている体験学習。今年も地元の農業法人が育てたひとめぼれの苗を、泥だらけになりながら植えました。

PTA役員と先生方が水田に線引きし、老人クラブの方が植え付けを指導。6班に分かれた子どもたちが一斉に植え始め、1時間足らずで約20aの水田に苗を植え終えました。

秋には稲刈り体験、道の駅での米の販売会、しめ縄づくりを計画しています。

(担当：佐々木文彦委員)



地域計画(目標地図)の策定について

これまで、地域の農地利用のあり方については、地域の農業者等が協議して取りまとめ、「人・農地プランの実質化」の取り組みが行われてきましたが、令和4年5月の農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い「地域計画」として法定化されました。地域計画の策定にあたり、農業委員会では、10年後の農地一筆毎の耕作者を示した地図「目標地図」の素案作成を行います。地域での話し合いなど、皆さまのご協力をお願いします。なお、地域計画の策定は令和5年度から令和6年度の2年間で行われます。

石巻市農業委員会総会等日程表

年月	項目	受付期間		専門委員会		総会
		開始日	締切日	農家相談	農地調査	
令和5年7月		3日(月)	7日(金)	18日(火)	19日(水)	27日(木)
8月		1日(火)	7日(月)	18日(金)	21日(月)	29日(火)
9月		1日(金)	7日(木)	15日(金)	19日(火)	27日(水)
10月		2日(月)	6日(金)	17日(火)	18日(水)	27日(金)
11月		1日(水)	8日(水)	16日(木)	17日(金)	28日(火)
12月		1日(金)	7日(木)	15日(金)	18日(月)	25日(月)
令和6年1月		4日(木)	11日(木)	18日(木)	19日(金)	29日(月)
2月		1日(木)	7日(水)	16日(金)	19日(月)	27日(火)
3月		1日(金)	7日(木)	15日(金)	18日(月)	26日(火)

申請にあたって

・必ず事前に農業委員会にご相談ください (☎62-4826)

石巻市のホームページで詳しい案内をご覧ください。
 (https://www.city.ishinomaki.lg.jp)

申請書類の様式等もございますので、どうぞご利用ください。



下限面積要件が、令和5年4月1日から廃止になりました。

農地法の一部改正に伴い、農地の権利取得時(売買・譲渡等)に求められていた下限面積要件(50a要件)が撤廃されました。ただし、農地の権利取得に必要なそのほかの要件は、これまで通りですので、ご注意ください。

全国農業



週間

月4回金曜日発行
 月700円、年8,400円
 (消費税込)

■購読の申込みは農業委員会へお気軽に連絡ください

編集後記

私たち農業委員が改選になり、早二年が経過しようとしています。

本誌の編集委員も交代し、新たなメンバーで担っており、不慣れな点が多く、読みづらい部分もあるかと思いますが、何卒ご容赦頂ければ幸いです。農業委員の役割は地域の皆様の声を聴き、よりよい経営環境を作ることができるよう尽力することと考えており、またそのための「地域計画」になると考えています。

今後とも農業委員会だよりの発行による情報提供、そして地域農業従事者と行政との橋渡し役に努めて参りたいと思います。

昨今の農業生産資材の高騰等、農業経営は大変厳しい情勢下にあります。関係者が力を合わせ、知恵を出し合って、この危機を乗り越え、明るい未来に向かって精進することが肝要であると考えます。

結びに、今般編集協力を頂いた皆様に心から感謝申し上げますと共に、農業委員会の各種事業に対する変わらぬご理解・ご協力を切にお願い申し上げます。

(担当：日野 智 委員)

- | | | |
|------|-------|--------|
| 編集委員 | 委員長 | 高橋千代恵 |
| 副委員長 | 佐々木 洋 | |
| 委員 | 安部 秀逸 | 佐々木文彦 |
| | 伏見さと子 | 岡田 正男 |
| | 伏見 晃也 | 三浦 孝一 |
| | | 日野 智 勝 |

